

## 2008（平成20）年度活動報告

部会長 狩野 啓子

- 4月 文化財保存修復学会第30回記念大会で、研究部会の研究成果を発表することが決定され、準備を開始した。口頭発表は、上宮健吉・狩野啓子・堂前亮平の連名。ポスター発表は、狩野啓子・上宮健吉・宮原信孝の連名で行うことに決定。発表用ポスターの構成と印刷は原口雅浩が担当。
- 4月11～19日 松枝哲哉氏が、東京の和光並木館において個展「筑後の風を織る」を開催。その中でプロジェクトチームが開発したクララ和紙を一部使用した紙布も夏帯として展示された。
- 5月16日 防虫和紙プロジェクトの解説を上宮健吉が文化財保存修復学会エクスカージョンで行う。（松枝哲哉氏の工房藍生庵にて）
- 5月17・18日 文化財保存修復学会第30回記念大会が太宰府市で開催された。ポスター発表は、2日間九州国立博物館のエントランスホールで実施。口頭発表は、18日に太宰府市中央公民館で上宮健吉が代表して行った。口頭発表「保存用記録紙として防虫効果の高いクララ和紙について」（上宮健吉・狩野啓子・堂前亮平）。ポスター発表「化学薬剤を用いない防虫保存用品の開発」（狩野啓子・上宮健吉・宮原信孝）。
- 6月19日 部会研究会。株式会社社長長沼氏、林原研究所の福田センター長が来訪。御井図書館3F 筑後文化資料室作業室で、研究部会と懇談会を実施。桑野剛一が、藍菌研究についてのプレゼンテーションを行った。林原研究所における藍研究についての福田氏のプレゼンテーションも聴講。その後、藍生庵訪問に同行した。
- 6月27日 上宮、八女伝統工芸館に赴き、中原稔彦氏からクララ和紙を受領。
- 7月2・8日 上宮、福岡の中野三敏氏宅で研究材料の収集。
- 7月12・13日 阿蘇の白水の下礮牧野組合に依頼して、牧場内のクララを10名で採取。溝田俊和氏、試作用に持ち帰る。松枝哲哉氏・小夜子氏、木綿布のクララ染め実験に取りかかる。
- 8月1日 部会研究会  
上宮に九州国立博物館より客員研究員の依頼。（2008年8月1日～2010年7月31日）  
「文化財害虫の飼育、観察、記録をとおして生態を把握する」ことが依頼の目的である。  
上宮（研究所特別研究員）に、比較文化研究所会議室横の別室の使用が許可された。
- 9月5・6日 狩野がソウルの韓国国立古宮博物館で開催された東アジア紙文化財保存修理シンポジウムに参加。
- 9月18日 上宮がクララとキハダの本格的抽出を開始、分子生命研の大沼雅明氏の協力。その他に百部根、イチョウ葉エキスなどの煮熟による抽出も行う。
- 10月7日 部会研究会。「ブックオカ」の記事掲載のため、3名のスタッフが研究会の前に上宮を取材。
- 10月28日 「ブックオカ」（西日本新聞）の「必殺ブック仕事人！ 四天王伝説」に下記のタイトル付きの記事が掲載された。
- ・虫に食われぬ長寿紙をつくる「本の虫」王。上宮健吉さん
  - ・キングの名言「紙を遺せば、文化が遺る」

- ・害虫・シバンムシによって失われた古文書や書物は数知れず。
- ・紙メディアで次世代に文化を伝える夢はクララ和紙に託される。

- 11月4日 久大エンタープライズと打合せ。部会より「筑後優品（仮称）」の提案。
- 11月30日 部会研究会で八女・田主丸方面見学会を実施。  
八女の溝田和紙とクララ栽培の近藤氏、田主丸野松枝氏（藍生庵）を中心に、ビデオ撮影を行いながら、見学。
- 12月9日 筑後文化資料室作業室を400号館3階に移動。和紙・保存布・保存箱関係の資料は、この作業室に保管。
- 12月23日 筑後優品の構想に着手。  
松枝工房ほか、溝田和紙、松延工芸、服部提灯などの製品が、現時点での候補。  
漆塗り、竹細工、彫金、彫刻なども今後検討。

#### 2009年

- 2月12日 狩野が久留米市長を訪問。プロジェクトの内容を説明。
- 2月14日 部会研究会。  
桑野・大沼・上宮・狩野 発表
- 2月19日 狩野が大英博物館修復部平山スタジオを訪問。矢野英子外国語教育研究所講師が英語通訳として協力（2月26日のクイリナーレ訪問まで）。
- 2月20日 レディング大学（Reading University）を訪問。  
EU諸国で展開された大型プロジェクトSPINDIGOのリーダーであるフィリップ・ジョン教授（Philip John）を訪問。
- 2月25日 バチカン美術館修復部紙部門を訪問。
- 2月26日 イタリア国立修復中央研究所（Istituto Centrale per Il Restauro）を訪問。
- 2月26日 クイリナーレ（Quirinale 旧王宮 現大統領官邸）美術室を訪問。
- 2月26日 ローマ大学を訪問。
- 3月2日 筑紫野市民大学で狩野が「ローマで見てきたこと」と題して、バチカン美術館やローマ国立修復研究所訪問の経験について講演。
- 3月15日 九州国立博物館で久留米大学比較文化研究所文化財保存科学研究部会・九州ミュージアムIPM研究会第3回合同研究会を開催。
- 3月19日 狩野が松枝哲哉氏の案内で、大木町の松枝家を訪問。松枝氏の両親にインタビュー。教育学習支援センターの酒井さん同行。その後「藍生庵」を訪問。
- 3月28日 狩野が釜山大学伝統服飾研究所を訪問。
- 3月30日 溝田俊和氏と狩野が八女市長を訪問。プロジェクト研究について説明。

（文責 狩野 啓子）